●毎月第2・4木曜日発行 ●編集と発行 能代市市民まちづくり支援課 〒016-8501 秋田県能代市上町1-3 TEL0185-89-2147 ●印刷 ㈱大潟印刷

R100 100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

# はじめよう協働のまちづくり

No.7

◎常盤のまちづくりから

## 『常盤ときめき朝市』スタート！

**■常盤ときめき朝市**
**日時**：７～11月　毎週土曜日
午前６～８時
**場所**：ＪＡあきた白神常盤倉庫

７月から毎週土曜日の朝、常盤地区では朝市が開催され、地域にちょっとしたにぎわいが生まれています。この朝市の仕掛け役は、常盤地域里づくり協議会産業部会の中の『ときめき隊』。

地域農業のさらなる発展を目指して結成された『ときめき隊』では、ダチョウの飼育やオーニソガラムの栽培など新たな地域産業の可能性を模索しています。将来的には産直施設を設置し、常盤の農産物の市内外へのＰＲを目標にしており、今回始めた朝市がその実現に向けての第一歩になればと考えています。

朝市が始まり「歩いていける範囲で買い物ができ便利だ」というお年寄りもいます。

朝市では、とれたてもぎたての新鮮で安全な野菜や山菜などが販売されます。ぜひお立ち寄りください。

地域に新たなにぎわいが生まれています

# まちかどウォッチング

## 友達、家族と一緒に緑鮮やかな松原を歩く

７月10日㈰、風の松原親子ウォークラリー大会が開催されました。コースにはいくつかのチェックポイントが設けられ、そこで出された課題を解きながら、チーム全員で協力してゴールを目指しました。

# いつも元気

ちびっこフェスティバル

# のーろ逍遥 歴史と民俗のあいだ 74

## 馬の絵㈢ 「鶴形・釣潟神社」

鶴形の釣潟神社にある絵馬です。釣潟神社には、元亀三年（一五七二）に檜山安東愛季が親子馬渡河の絵馬を奉納していますが、古くは聖観音を本尊とする圓通山廣大寺と称していました。別当は東光坊・宝泉院・大應院から、現在の小笠原氏へとつづきます。江戸時代は天台系の寺院から山神社に改宗し、別当は修験が勤めることになります。愛季の信仰が篤かったように、その後も小場氏や多賀谷氏の援助がありました。明治になって神仏混淆が禁止され、さらに神社の合祀がなされると山神社は愛宕神社となり、さらに明治末に釣潟神社となります。

釣潟神社には親子馬の絵馬をはじめ数々の文化財がありますが、左の絵馬もその一つです。天保四年（一八三三）に五十嵐蠹仙の描いたものです。蠹仙が江戸での修業を終えて帰ってきた年で、翌年には京都に上りますから、そのわずかなあいだに描かれました。画題は、兄の将軍頼朝と対立し、平泉で非業の最期を遂げた源義経でしょうか。一騎しか描かれていないところが孤独の最期を暗示させます。その表情も緊迫した中に毅然とした雰囲気を醸し出しているように思います。（古内）